

おお ちわたりい せき いし どりやちようおお せがわ とう ほうほん  
大地渡遺跡は花巻市石鳥谷町大瀬川にあり、JR 東北本  
せん 線石鳥谷駅の北西約 4.5km に位置しています。 標高は約  
てい い だんきゅうめん りっ ち  
148m で、低位段丘面上の南縁近くに立地し、遺跡の南側  
くずまる がわ  
には葛丸川が南東に向かって流れています。

ほん い せき とう ほうじゅうかんじ どうしゃ どうけんせつ ともな いわ  
本遺跡は昭和 49 年に東北縦貫自動車道建設に伴い、岩  
て けんきょういくい いん かい はくつちようさ おも じょうもん じだいちゅう  
手県教育委員会による発掘調査が行われ、主に縄文時代中  
き たてあなじゅうきよあと とう す  
期 (約 5,000 ~ 4,000 年前) の竪穴住居跡が 10 棟、捨て  
ば いぶつ ほうがんそう  
場と見られる遺物包含層、縄文土器や石器などが見つかり  
ました。また、へいあん じ だい  
平安時代 (約 1200 ~ 800 年前) の竪穴住  
は じ き す え き いぶつ  
居跡 2 棟と土師器や須恵器などの遺物が見つかりました。

い こう ひろ ば かこ  
縄文時代の遺構については、中央の広場を囲むように住  
こじょう はい ち  
居群が孤状に配置され、集落の西側と南側には遺物の捨て  
もう こうせい どう じ き  
場を設けた集落の構成となっています。これは、同時期の  
だいひょうてき かんじょうしゅうらく し わ にし だ  
代表的な環状集落として知られる紫波町の西田遺跡と似て  
おり、縄文時代  
中期の集落を知  
じゅうよう  
る上で重要な遺  
跡です。



Df09 住居跡出土土器 (1974 年調査)